

第10回東京湾再生推進会議の開催結果について ～「東京湾再生のための行動計画（第三期）」を策定しました～

令和5年3月14日に第10回東京湾再生推進会議が開催されました。平成25年5月に10か年計画として策定した「東京湾再生のための行動計画（第二期）」が令和5年3月に計画期間を満了することから、これまでの取組状況とその評価を期末評価報告書としてとりまとめるとともに、新たに令和5年度以降の「東京湾再生のための行動計画（第三期）」を策定しました。

東京湾再生推進会議とは、東京湾の環境保全に関連する関係省庁及び地方公共団体からなる会議体で、東京湾の環境改善に向けた取組を推進しています。

第二期の行動計画については、各取組を着実に実施した結果、全体を通してみると東京湾の環境は長期的には一定の改善がみられるとの評価がなされました。一方、湾内の水質については、依然として目標の完全な達成には至らず、引き続き東京湾再生を目指す関係者の連携をより一層強化していくことが重要であるとし、「東京湾再生のための行動計画（第二期）」期末評価報告書を取りまとめました。

上記期末評価を踏まえ、「東京湾再生のための行動計画（第三期）」を策定し、新たな目標を設定しました。

（新たな目標）

快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する、
親しみやすく美しい豊かな「海」を多様な主体が協力することで取り戻す
～流域3,000万人の心を豊かにする「東京湾」の創出～

上記目標の達成に向け、「豊かな水環境の実現」、「楽しく、親しみやすい東京湾の創出」、「活動の環（わ）の拡大」からなる3つの目標の柱を設定し、分野を超えた連携を図りながら施策を検討し、取組を推進すること等を決定しました。藻場・干潟等のブルーインフラ[※]の持続可能な保全・再生・創出の取組や、「自然共生サイト」の認定等、官民連携の新たな取組の推進を盛り込むとともに、計画の機動性・実効性を向上させるため、従来の計画から構成を一新しました。

※CO₂吸収源対策や生物多様性等の様々な課題の解決に貢献するブルーカーボン生態系及びその生息環境を形成する基盤となるもの。



河川の清掃活動



アマモ場の育成活動



東京湾環境一斉調査

取りまとめられた「東京湾再生のための行動計画（第二期）」期末評価報告書及び「東京湾再生のための行動計画（第三期）」は東京湾再生推進会議のホームページにて公表しています。

「東京湾再生のための行動計画（第二期）」 期末評価報告書

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/RenaissanceProject/AP2_Evaluation_f.pdf

「東京湾再生のための行動計画（第三期）」

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/action_program_3rd.pdf

添付資料

資料1 「東京湾再生のための行動計画（第二期）」 期末評価（概要）

資料2 「東京湾再生のための行動計画（第三期）」（概要）

資料3 東京湾再生推進会議及び東京湾再生官民連携フォーラムの概要

<お問い合わせ先>

- | | |
|----------------|---|
| ○東京湾再生推進会議について | 海上保安庁 海洋情報部 技術・国際課 海洋情報技術調整室
TEL：直通 03-3595-3604 |
| ○陸域対策について | 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 流域管理官付
TEL：直通 03-5253-8432 |
| ○海域対策について | 国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室
TEL：直通 03-5253-8685 |
| ○モニタリングについて | 環境省 水・大気環境局 水環境課 閉鎖性海域対策室
TEL：直通 03-5521-8319 |